

◎今週の御言葉 「試みを受けられたキリスト」(エレミヤ書31章27節～34節、ヘブル人への手紙2章10節～18節)

「人々はもはや、『主を知れ。』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。一主の御告げ。一わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」(31:34)。「イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たちを助けることができます。」(2:18)。

◎聖書には「旧約」と「新約」があります。この「約」は「契約」の約です。神様と人との契約です。その中身は？

◎エレミヤ書31章で、神様は「新しい契約」を約束されました。これは「古い契約」(コリント②3:14)、即ち、神様が「彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約」(「律法を守る者は祝福され」「守らない者は呪われる」、申命記27:15-26)とは違うのです(32)。古い契約の律法は「2枚の石」(出31:18, 34:28, 29)、「書物」(出24:7)に記されたが、新しい契約は「心に記される」契約です(33)。

それまで人々は「父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く」と責任を逃れていたが、神様は「人はそれぞれ自分の咎のために死ぬ」(申命記24:16)、「酸いぶどうを食べる者は歯が浮く」と宣言されるのです(30、エゼキエル18:2-4)。

その神様が人間の罪を解決するため「罪の赦し」の約束をされた。「一主の御告げ一わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ」(34)。神様の赦しは徹底的です。「ぬぐい去ってくださる」(イザヤ43:25)。神様は言い逃れをする民に対し、新しい契約を「心に律法を記す」と約束され、神様を「知る」ことの出来る関係に入れて下さる。

◎イエス・キリストはバプテスマのヨハネから洗礼を受けられた後、「御霊に導かれ」て荒野におり、悪魔の試みを受けられました。イエス・キリストは三つの誘惑を受けられました。第一は「パン」、第二は「魅惑的なもの」、第三は「権力と繁栄」の誘いです。イエス・キリストはその誘惑に聖書の御言葉(何れも申命記)によって勝利を得られたのです。

◎アダムとエバは蛇の誘惑を受けた時「目が開け、神のようになり、善悪を知るようになる」と誘われ、「食べるのに良く、目に麗しく、賢くする」のに好ましく覚え、神様のみ言葉に背き、罪を犯したのです。真の救い主であられるイエス・キリストは、それらの誘惑に勝利を得られたのです。

◎サタンの誘惑は「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」等によるのです(ヨハネ②2:16)。しかし「神の子が現れたのは悪魔のしわざを打ちこわすため」です(同3:8)。「神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです」(ローマ8:14)。

試練を受けられたイエス・キリストは試みの中にある人のために執り成して下さることが出来るのです。主を仰ごう！